

津波で全壊した消防署出張所が9年ぶりに再建

we support!
RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め
復興支援「すけさきた」しんぶん
かめらぼん

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

APRIL
11
2020



石巻 消防署の出張所
9年ぶりの再建

(3月23日) NHK NEWS WEB

東日本大震災の津波で全壊し、仮設の庁舎で業務を続けてきた宮城県石巻市の消防署の出張所が9年ぶりに再建され、完成を祝う式典が開かれました。

石巻市の河北消防署北上出張所は震災の津波で庁舎が全壊し、市内の別の場所で情報収集に当たっていた職員2人が犠牲となりました。

これまで仮設の庁舎で業務を続けてきましたが、北上地区に新しく造成された海拔30メートルの高台に新しい庁舎が再建され、23日、完成を祝う式典が開かれました。

式典では、石巻地区広域行政事務組合の鈴木芳一消防長が「仮設庁舎での業務を余儀なくされてきたが、地元の支援で再建できた。復興の旗印として安心安全を守りたい」とあいさつしました。新しい庁舎は鉄筋コンクリートの平屋建てで、

歌津駐在所も復活



(4月5日) 朝日新聞デジタル

東日本大震災の津波で被災した宮城県南三陸町の歌津駐在所の新庁舎が完成し、1日、開所式が行われた。

新庁舎は木造平屋建て約100平方メートルで、震災時に津波が到達しなかつた標高約20メートルの高台に建てられた。旧庁舎は河口に近いJR歌津駅そばにあつて、被災後は仮設住宅があつた町内の運動施設「平成の森」に臨時の交番を設けていた。新庁舎では複数の署員が業務にあたり、住民が立ち寄ることのできる相談スペースもある。

この日の開所式では、駐在所の佐々木正弘所長が「地域の治安維持はもとより、住民一人一人の悩みや問題に寄り添って、日々考えながら対応していきたい」と意気込みを語った。

町内では、南三陸署や三つの駐在所が被災。駐在所の再建は2カ所目で、南三陸署の新庁舎は来年2月に完成予定だ。

新型コロナウイルスの影響により 東北風土マラソンも延期に



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、仮装しておいしいものを食べながらゴールを目指す『東北風土マラソン & フェスティバル』も残念ながら2020大会の中止が決定いたしました。

出場予定だったランナーの皆さんは、「東北風土マラソン & フェスティバル2021(同4月24日、25日開催予定)」にそのまま出場枠および参加費が引き継ぎられるとのことです。(辞退も可能。その場合には2020のTシャツなどの記念品が郵送されます)また、小学校低学年〜高校生の参加者については、出場枠が年齢に応じた種目に変更になるため、該当者に直接連絡が入るそうです。

事態が無事に収束し、人々が気兼ねなく集まれる暮らしが一日も早く戻ってくるよう、各地での取り組みと判断を尊重し、できることを前向きに積み重ねていきます。

資料: NHK NEWS WEB、朝日新聞デジタル、東北風土マラソン & フェスティバル実行委員会HP